



研修会を開催しました

令和6年12月6日(金)に、県・市町及び土地改良区の多面実務担当者を対象として、以下の内容の研修会を開催しました。

【内容】

1. 年度末の事務処理・活動計画書の作成等について

- ・県より、年度末の事務処理と活動計画書の作成にあたってのポイントについて説明

2. 連携の事例紹介について

- ・浜松市より、「水と緑北都の会」の企業連携、「伊佐見地域農地・水・環境保全管理協定」の広域連携及び農福連携の紹介。伊佐見管理協定より、具体的な連携の内容及び県第三者委員会での評価内容について説明

3. 県内活動組織の取組事例について

- ・土地改良連合会より、17組織と7市1町多面担当者の聞き取り調査の結果を報告

4. ワークショップ

- ・参加者を5グループに分け、「円滑な活動ができる支援体制」をテーマに、ブレインストーミングに取り組み、グループ毎に成果を発表

【受講後アンケート】

「間違いやすい処理の説明が良かった」、「基礎知識が身についた」、「事例紹介で現場の声が聞けた」、「他市町と情報共有ができた」など、研修に参加して良かったという意見を多くいただきました。一方で「役所と組織の事務処理の話をもう少し長めに聞きたかった」、「組織向けにも同様の研修を行ってほしい」など、改善を求める意見もいただきました。

意見を踏まえて、今後の研修会がより良いものとなるように改善していきます。



浜松市永田主任(正面左)と伊佐見管理協定
今田会長(正面右)による「連携の事例紹介」



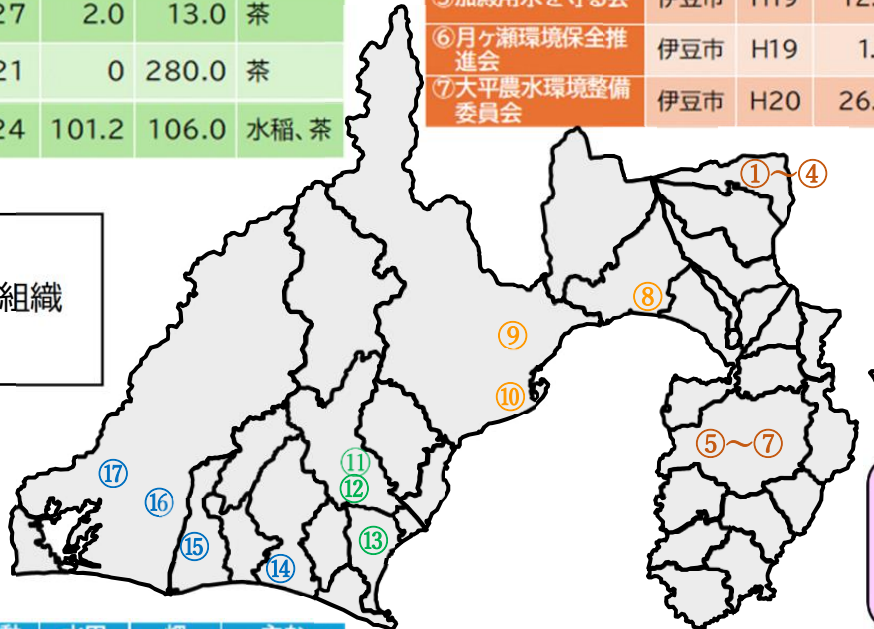
ブレインストーミングに取り組む参加者

活動組織・市町聞き取り調査

県内には29市町で、249活動組織があります。活動組織の特徴的な取り組みや運営上の課題、市町の役割、課題を把握し、情報共有することを目的に聞き取り調査を実施しました。

活動組織名	所在地	活動開始	水田 (ha)	畑 (ha)	主な作目
⑪東光寺の郷を愛でる会	島田市	H27	2.0	13.0	茶
⑫湯日美里会	島田市	H21	0	280.0	茶
⑬坂部みどりネットワーク	牧之原市	H24	101.2	106.0	水稲、茶

今年度聞き取り
対象活動組織:17組織
対象市町:7市1町



※ヒアリングにご協力いただきましてありがとうございました。

活動組織名	所在地	活動開始	水田 (ha)	畑 (ha)	主な作目
⑭みどりnet山崎	掛川市	H20	80.5	23.0	水稲、野菜
⑮岩田故郷の会	磐田市	H24	48.0	84.7	水稲、野菜
⑯浜北環境保全	浜松市	H24	5.0	137.0	野菜
⑰なかもっこ	浜松市	H29	14.0	26.5	水稲、柑橘

活動組織名	所在地	活動開始	水田 (ha)	畑 (ha)	主な作目
⑧富士山のふもとの郷を守る会	富士市	H19	253.8	36.0	水稲
⑨茂畑みどり保存会	静岡市	H19	0	33.9	茶、柑橘
⑩久能環境保全推進協議会	静岡市	H27	0	34.3	苺

I. 調査活動組織

活動組織名	所在地	活動開始	水田 (ha)	畑 (ha)	主な作目
①上野美農里の会	小山町	H25	16.6	3.4	水稲
②上野南部みのり会	小山町	H28	12.0	1.1	水稲
③一色鳥見塚環境保全会	小山町	R4	12.7	0.5	水稲
④棚頭宮農資源保存会	小山町	R5	10.8	2.6	水稲
⑤加殿用水を守る会	伊豆市	H19	12.8	3.6	水稲
⑥月ヶ瀬環境保全推進会	伊豆市	H19	1.5	5.9	梅
⑦大平農水環境整備委員会	伊豆市	H20	26.2	6.2	水稲

II. 活動組織の聞き取り結果

1. 役員、事務局体制

- ・土地改良区に事務局があり、改良区職員が多面と改良区の事務を兼務
- ・JA支店内に事務拠点があり、JA職員が事務を受託
- ・地区センターに事務拠点があり、センター職員や多面職員が常勤
- ・NPO法人が事務を受託
- ・茶工場に組織拠点を置いている
- ・地域の複数の町内会が連合し、自治会役員が活動組織役員に就いている
- ・元自治体職員、JA職員、IT技術者が組織役員に就き、事務処理を担当している
- ・土地改良区、自治会役員が活動組織役員に就いている組織は、役員交代がスムーズ
- ・書類作成を市町職員に頼っている組織が、若干数存在する

2. 特色ある活動内容

- ・目的をもって組織を立上げ
- 〔耕作放棄地を発生させない〕・〔地域内農地に鳥獣害防止柵を設置〕・
- 〔水田法面全面にカバープランツを植栽〕・
- 〔生活道路として集落に欠かせない基幹農道を保全管理〕・
- 〔地域防火用水も兼ねている農業用水路を保全管理〕

- 他組織、団体等との共同活動
〔地域の幼稚園、小学校の農業体験学習〕・〔福祉施設などとの農福連携〕・
〔都市住民や都会の高校生の農業体験受け入れ〕・〔地域内建設会社が組織構成員〕
- 地域の景観、環境保全活動
〔花の会や地域幼稚園などと連携した花の植栽〕・〔子供たちと水生生物の保全活動〕・
〔耕作放棄地を解消して蕎麦栽培〕
- 独特な活動
〔毎週土曜日を活動日に指定〕・〔いちご栽培の石垣づくり伝承〕

III. 市町の聞き取り結果

1. 制度の必要性

- 地元要望に応じられる予算は、市町では確保しきれないことから当制度は有用
- 地域の農業維持に必要な経費の一部となっている
- 活動組織の有無により、地域の農地、農業用施設の管理状況に差がみられる
- 豪雨時の被災復旧等に利用すれば、即応性が高い
- 農地、農業用施設の保安全管理に地元費用負担なしで充当できる
- 水利の維持が、組織によって対応できる

2. 市町の推進体制

- 担当課内において活動組織数の目標値を設定
- 部農会長会議において全地域にむけ多面制度を説明
- ほ場整備が完了した地域をそのまま組織化するように誘導
- 水田地域で基盤整備を完了した地域はほとんど組織化
- 農地が中山間地域に集中しており各組織の認定面積が狭小のため、広域化を検討
- 自治会から上がる要望書の内容によって多面制度を紹介
- 各組織を参集した事務説明会を開催し、書類不備等を未然防止
- 既に活動している組織間に挟まれた地域での新規立ち上げを目指す

IV. 今後への課題

1. 活動組織が抱える課題等

- 報告書作成等の事務処理が不得手で困っている
- 離農、転出、高齢化により活動参加者が著しく減少し共同活動に支障をきたしている
- 他組織の活動内容を参考にしたいが情報がない
- 他組織と連携したいが方策がわからない
- 役員が高齢化しており、後を担う若手が不在で世代交代が進まない
- 交付金の交付時期が遅い。活動が始まる田植え前の一括交付を望む

2. 市町が抱える課題等

- 事務処理が不得手な活動組織への事務補助業務に時間を割かれ、活動に対する支援や指導を行う時間がない
- 活動組織の作成する書類の精度にバラツキがみられる
- 交付金の交付時期を、活動組織の求める支出時期に合わせたい
- 市町役場内で他部署との連携を図りたい
- 新規組織立ち上げに向けての地域リーダーが不足

- ・中山間地域が多く、小規模農地が分散しており交付金額が少額となる。事務手間を考えると地域、行政とも組織化を躊躇してしまう
- ・多面制度の周知がまだまだいきわたっていない
- ・書類作成、事務手続きについて、面倒くさいと思われる

V. まとめ

- ・施設補修や日常的な管理において、行政・活動組織ともに有用な事業であり、今後も継続して欲しい、活動を続けたい、と回答している
- ・地域コミュニティ形成の役割を担っている
- ・高齢化、参加人数の減少、役員の後継者不足など、今後の活動に不安を抱いている
- ・事業の推進体制について見直し、課題に対する打開策が必要

聞き取り調査の結果を踏まえて、必要な支援体制や推進体制の検討を行っています。次号の協議会日より、検討内容をお知らせする予定です。

多面的機能支払に係る研修用動画について

全国土地改良事業団体連合会が、多面的機能支払の研修用動画を作成し、YouTubeで公開しています。非常にわかりやすい内容になっていますので、活動組織内の研修や事業制度説明等で是非ご活用ください。

「全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会」のHPに掲載されています。以下のQRコードを読み込むことで視聴することができます。

多面的機能支払交付金でできること (約19分)



動画QRコード



多面的機能支払交付金利用の手続 (約14分)



動画QRコード



多面的機能支払交付金 活動組織の広域化のすすめ(約20分)



動画QRコード



発行

ふじのくに美農里プロジェクト
静岡県多面的機能支払推進地域協議会

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
(静岡県 経済産業部 農地保全課内)

TEL : 054-221-2714
FAX : 054-221-2809

HPもぜひ
ご覧ください

